



1. 本授業科目の基本情報

科目名（コード）	医療通訳基礎 I		(TCM219)
講義名（コード）	TCM_医療通訳基礎 I		(TCM219)
対象学科	国際コミュニケーション学科	配当学年	2学年
対象コース	日中医療通訳コース	単位数	4
授業担当者	伊東かつみ	時間数	60
成績評価教員	伊東かつみ	講義期間	春学期
実務者教員	はい	履修区分	必修
実務者教員特記欄	本講義は、関連分野で活躍した講師による授業である。	授業形態	講義

2. 本授業科目の概要

到達目標・目的	医療従事者として現場で即戦力となる確かな知識と技術を持ち、異文化に対する理解及び、通訳者として最低限度の言語運用力とコミュニケーション力を身につけた人材になる。
全体の内容と概要	検査内容の理解と逐次通訳に重点を置き、基本的な診察に対応できるような訓練をする。チームに分かれて、他の学生の知識や経験を共有し競いあいながら、医療通訳の知識と現場での対応力を身につける。毎回点呼の時の一言、短文の翻訳を行う。
授業時間外の学修	指定した患者と医師の会話文（日本語と中国語）の日本語文を読み、中国文を日本語に翻訳した文とともに録音する。 中国語文は日本語に翻訳してチャットで送る
履修上の注意事項等	授業中のゲームやクイズは真剣に取り組むこと。発言、質問、宿題提出など授業中に獲得した個人の点数は平常点として、考慮する、間違いから学ぶことを理解し、積極的に発言すること。

3. 本授業科目の評価方法・基準

評価前提条件	2/3以上の出席		
評価基準	知識（期末試験点） 60%	自己管理力（出席点） 30%	協調性・主体性・表現力（平常点） 10%
評価方法	期末試験の点数	出席率X 0.3 (小数点以下切り上)	授業中の活動評価点 (5点を基準に加点・減点)
成績評価基準	評価	評価基準	評価内容
	S	90～100点	特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。
	A	80～89点	優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。
	B	70～79点	妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれなりに成している。
	C	60～69点	合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。
	D	59点以下	合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。
	F	評価不能	試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。

4. 本授業科目の授業計画

回	到達目標	授業内容
1	病気の説明を的確に行うことができる。	日常的な病気や自分がかかった事がある病気、怪我など、一般的な病気等について、日本語、中国語で説明できるようにする。 様々な病気や症状について理解を深める
2	実施頻度の高い検査について、一般知識を得る	各種検査の通訳
3		演習問題
4	助詞に注意し、「に」を使う言い回しに慣れる	皮膚科、入院、アレルギーの通訳演習
5	やりもらいの敬語編変換が理解でき、慣れる	敬語；尊敬語の練習
6		作文提出
7	歯科医の用語、会話を調べて、通訳できるようにする	歯科関連の通訳演習
8	薬局での用語、習得し、会話を想定し、対応できるようにする	薬局での通訳演習
9	便の状態、吐き気、具合の悪さ、痛みなどを説明できるようにする	腸・肛門関連の語彙と通訳演習
10	婦人科の通訳ができるようになる	婦人科の病気、検査方法、
11		中間ロープレテスト
12		中間ロープレテスト
13	検査の場合の通訳の仕方	大腸内視鏡検査、今までの復習
14		前期定期試験
15		前期定期試験 F B

5. 本授業科目の教科書・参考文献・資料等

教科書	「医療通訳」一般財団法人 日本医療教育財団 著（厚生労働省配布）
参考文献・資料等	医療通訳学習テキスト
備考	